

東京大学 公開講座

第136回 2023年春季

小論文

6/10 SAT

整える

6/24 SAT

生まれる

6/17 SAT

育む

会場：

東京大学 安田講堂

〈文京区・本郷キャンパス〉

※安田講堂は、バリアフリー対応となっています。

〈対象〉 成人一般・大学生・高校生 定員(各日)：500名

〈受講料〉 各日3,000円

※各日の開場は12時を予定しています。

※オンライン配信は行いません(すべての講座はありませんが、開催後、東大TVにて視聴できますので、そちらをご視聴ください)。

※やむを得ない事情によりプログラムを変更する場合がございます。ご了承ください。



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

第136回 2023年春季
東京大学公開講座

開講にあたって



第136回東京大学公開講座
企画委員会 委員長
勝野 正章
(教育学研究科長)

高齢化や地域過疎化(首都圏一極集中)とあいまって、少子化が招来する「縮小社会」における社会経済活動の持続可能性への危惧が叫ばれるようになり、既に久しいものがあります。しかし、子どもを産みやすく、育てやすい社会への移行が唱えられ、種々の対策が講じられてきてはいるものの、少子化に歯止めがかかる様子は一向に見られません。厚生労働省によれば、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮する必要はありますが、2022年に日本で生まれた子どもの数は80万人を割り、統計開始以来、最少を記録しました。

少子化の背景、原因については、様々な分析や議論が行われてきました。たとえば、男女を問わず進行する若年層の労働・経済環境の劣化と格差拡大、「イクメンブーム」がアイロニカルに示す子育て・家事負担の男女不平等などが、未婚・非婚、そして非自発的なものを含む子どもを産まないという選択の背景にあることが指摘されています。戦後の日本は、人口増加と経済・政府活動(行政サービス)拡大の好循環を経験しました。少子化は、この成長モデルを支えていた日本型企业社会が揺らいでいるにも関わらず、社会が子育てや家事といったシャドウワークに認める価値は低いままであることと深く関わっています。

現代社会において子どもを産み、育てるという営為には、普段私たちが自明視している意味や制度を問い直す契機が含まれています。たとえば、近年増加している生殖補助医療による妊娠・出産は、生物学的意味のみならず、法的・社会的な意味でも、従来の親子や家族という概念の再考を迫るものです。日本では、独身女性や同性カップルに対する人工授精や体外受精はほとんど行われていませんが、その背景には伝統的な家族観が存在しています。また、社会における子どもという存在の意味についても考えてみる必要があります。社会経済活動の持続性という観点のみから少子化の問題を捉えてしまうと、子どものウェルビーイング(well-being)は顧みられなくなってしまうかもしれません。

少子化という現代社会が直面している課題の背景・原因、影響、対策等について、様々な分野の学術的知見に基づいて多角的かつ根源的に考えることが、本講座のねらいです。そのため、「整える」「育む」「生まれる」という3つのサブテーマを設定しました。個々の講義の具体的な内容・テーマは、社会保障、財政運営、ユニバーサルデザイン、子どもの権利、保育・幼児教育、「反出生主義」、いのちの誕生、家畜の繁殖、家族制度の「解体」と多岐にわたります。人文・社会科学と自然科学の垣根を越えて、少子化という現象が差し出す数々の問いをともに考えましょう。

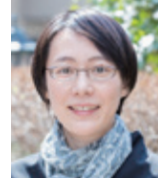
6月10日(土)「整える」

12:50～13:00 開講の挨拶 企画委員長／教育学研究科長 勝野 正章

13
..
00
} 13
..
40

高齢社会と少子化からのユニバーサルデザイン再考 新領域創成科学研究科 准教授 二瓶 美里

多様な人々にとって利用しやすい環境や製品デザインを提供することは、子育て世代やシニア世代の生活の質向上につながります。社会全体で少子高齢化に対応できる環境を整えることの重要性と課題について再考します。



13
..
50
} 14
..
30

社会保障と「少子化対策」 法学政治学研究科 教授 笠木 映里

今般の社会保障をめぐる議論では、出産・子育て支援、働く親支援、さらには非正規労働者への社会保障について、少子化対策としての役割が強調される傾向が見られます。こうした状況をどう評価すべきでしょうか。社会保障と少子化対策にはそもそも一体どんな関係があるのか、基本に立ち戻って考えてみたいと思います。



14
..
40
} 15
..
20

少子化と財政運営 公共政策学連携研究部 教授 岩本 康志

少子化が進むと人口が減少し、高齢化率が上昇しますが、そのことはどこまで問題なのでしょうか。近代日本の人口構造は大きく変動しましたが、経済と社会は比較的柔軟に対応してきました。しかし、高齢者への給付を現役世代の負担でまかなう財政の構造は少子化によって深刻な影響を受けます。そのとき財政はどのように対応すれば良いかを考えます。



15
..
35
} 16
..
25

総括討議 社会科学研究所 教授 中村 尚史

二瓶 美里／笠木 映里／岩本 康志



6月17日(土)「育む」

13
..
00
} 13
..
40

少子高齢化社会と子どもの権利 社会科学研究所 准教授 齋藤 宙治

少子高齢化が進むと、社会内で子どもが少数派になるといういわば「子どものマイノリティ化」が進みます。そこで、マイノリティの権利という切り口から、子どもを取り巻く社会環境のあり方を考えてみたいと思います。



13
..
50
} 14
..
30

少子化と保育・幼児教育の課題 教育学研究科 准教授 野澤 祥子

少子化が加速する中、その対策のひとつとして、保育・幼児教育が注目されています。一方で、保育・幼児教育は、親の子育てや家庭と仕事の両立を支えるだけでなく、子どものウェルビーイングと豊かな学びや育ちを保障し、生涯発達の基盤を形成する場でもあります。少子化対策の議論では見過ごされがちな保育・幼児教育の「多義性」と、それを踏まえた今後の課題を考えたいと思います。



14
..
40
} 15
..
20

サステナビリティと人口減少—反出生主義へと向かわせるもの 人文社会系研究科 教授 堀江 宗正

サステナビリティを脅かすのは世界的には人口増加ですが、日本では人口減少です。いずれは世界人口も減少に転じるとされます。それに向かわせるものは何でしょう。反出生主義の哲学を社会的文脈に置き直して考えます。



15
..
35
} 16
..
25

総括討議 公共政策学連携研究部 教授 川口 大司

齋藤 宙治／野澤 祥子／堀江 宗正



6月24日(土)「生まれる」

13
00
13
40
13
50
14
30
14
40
15
20
15
35
16
25

いのちの誕生を支える

医学系研究科 教授
春名 めぐみ



妊娠・出産は人類の自然な営みですが、現代ではこれらが医療現場で行われるようになりました。医療化した妊娠・出産はどこへ向かうべきか、周産期医療の現状から、妊娠・出産をめぐる社会の変化と課題について考えてみたいと思います。

家畜繁殖—ヒトによる命の管理と操作

農学生命科学研究科 准教授
松田 二子



家畜の繁殖はヒトによって高度に管理されてきました。ヒトに都合の良い形質を持つ個体を得るため、人工授精、胚移植(代理母出産)、雌雄産み分けなど、ヒトではタブーとされる技術も含め家畜では盛んに利用されています。意外と知られていないこれらの家畜繁殖技術について紹介します。

家族(制度)を解体する—ソフィー・ルイスの議論を参考に

教養教育高度化機構 D&部門 特任講師
飯田 麻結



本発表では、代理出産に関する言説を取り巻く「自然な」妊娠・出産というレトリックを批判し、家父長的な家族を解体したより広範なケアのコミュニケーションの可能性を模索するソフィー・ルイスの議論を参考に、フェミニズム/クィア理論の視点から少子化をめぐる日本の状況を考察します。

総括討議

人文社会系研究科・教授
阿部 公彦



春名 めぐみ / 松田 二子 / 飯田 麻結

16:25 ~ 16:35 閉講の挨拶 理事・副学長 津田 敦

【会場へのアクセス】

東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅 / 都営大江戸線 本郷三丁目駅 /
東京メトロ千代田線 湯島駅・根津駅 / 東京メトロ南北線 東大前駅



受講申込方法

東京大学公開講座のwebサイトに「受講規約」等を掲載しておりますので、ご確認ください。

【受付期間】5月8日(月)13時～ 各講義日16時

【定員】各日:500名

【受講料】各日:3,000円(税込)

入金後の受講料は、いかなる場合であっても返金できませんのでご注意ください。

【申込方法】インターネット・携帯サイトからのお申込のみとなります。

東京大学公開講座のWebサイトにアクセスし、所定の手順に従ってお申込ください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/publiclectures/entry.html>

(東京大学ホームページ → 社会連携 → 一般見学・公開講座案内 → 東京大学公開講座)

【支払方法】クレジット決済、コンビニ決済のどちらかを選択いただけます。

クレジット決済のお支払い回数は、1回払いのみとなります。

1 東京大学公開講座のWebサイトから第136回公開講座申込「こちら」をクリックし、お申込画面に必要事項を入力の上、『クレジット決済』か、『コンビニ決済』のどちらかを選択します。



2	クレジット決済 お申込内容をご確認のうえ、 カード情報をご入力ください。	コンビニ決済 お申込内容をご確認のうえ、 お支払するコンビニを選択してください。
---	---	---



3	決済が完了しましたら、 クレジット決済完了メールが届きます。	申込完了メールが届きます。Web画面上で表示されたお 支払情報を印刷、もしくはメモしてください。「お支払い方 法はこちらへ」をご確認いただき、選択しましたコンビニの レジにてお支払いください。
---	-----------------------------------	---



4 当日は決済完了メール or 支払い完了を証明するものをご持参し、会場での受付時にご提示ください。
※身分証明できるものをご提示いただく場合がございます。
身分証の例(運転免許証、運転経歴証明書、住民基本台帳カード、社員証、学生証、保険証、住民票、クレジットカード・
キャッシュカード(氏名表記のあるもの)、公的料金証明書(支払い名義が本人のもの)など)

※注意:システムのメンテナンスを実施している期間には、お申込いただけません。

案内・注意事項

本講座の撮影・録音・録画および資料の2次利用、詳細内容のSNSへの投稿は固くお断りいたします。
講演内容の盗用が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただきます。

講堂内でのお手荷物の紛失、盗難等について、主催者は一切責任を負いかねますので、受講者ご自身で管理を
お願いいたします。

講堂内での飲食はできません。また、会場内にゴミ箱はありませんのでゴミはお持ち帰りください。
やむを得ない事情によりプログラムを変更する場合がございます。ご了承ください。

感染が不安な方は、後日、東大TVにて視聴できますので、そちらをご視聴願います。
安田講堂は、バリアフリー対応となっています。

障害等のため配慮が必要な場合は、開催日の3週間前までにご連絡ください。

修了証書



2日以上受講された方には、ご希望により修了証書を交付します。
修了証書を希望される方は、お申込画面で「修了証書を希望する」に
チェックのうえ、修了証書送付先の住所をご入力ください。
発送は、7月下旬以降になります。

よくあるご質問

Q「 難易度はどのくらいですか? 」

講義内容の多くは初心者でも分かるものですが、一部専門知識を有する方向けの内容も含まれます。公開講座の受講者は、初心者から専門知識を持つ方まで、様々です。

Q「 事前に申込をしていますが、受講できますか? 」

事前のお申込が必要です(講座当日の申込可)東京大学公開講座のWebサイトからお申込ください。

Q「 休講する場合がありますか? 」

台風などの荒天や交通機関のストライキ、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの流行などにより、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、前日の午後5時までに、本学Webサイトに掲載いたします。Webサイトをご覧いただけない場合は、お手数ですがお電話でお問い合わせください。また、講師の急病・事故等により、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、決定次第本学Webサイトに掲載いたします。なお、上記の事由により休講となった場合は、可能な限り振替講座を行います。事情により開催できないこともあります。いずれの場合も、交通費・宿泊費等は補償できません。

Q「 講座の内容を録音・録画・撮影することはできますか? 」

講座の録音・録画・撮影等は、固くお断りいたします。すべての講座ではありませんが、東大TV(<http://today.tv/>)でご視聴できます。

Q「 Webサイトでの申込が難しいのですが、Webサイト以外で申し込むことはできますか? 」

申し訳ございませんが、本講座ではWebサイトでの申込としております。他の方法でのお申込はできません。

Q「 身分証として使えるものは何がありますか? 」

現地参加の受講申込方法をご覧ください。リストに記載のないものでも受講されるご本人の氏名が分かるものであれば、身分証として有効です。不明な場合は、お問合せください。

Q「 友人や家族の分を申し込むことはできますか? 」

代理申込はご遠慮ください。トラブルの原因になりますので、原則、受講されるご本人がお申込ください。

お問合せ

東京大学本部社会連携推進課

メール ext-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

TEL 03-3815-8345 受付時間: 平日9:00~12:00 / 13:00~17:00

テレワークを推奨しております。メールにてお問合せください。